スポーツニュース！

香美市体育大会

①＝1位②＝2位③＝3位

◆ソフトボール
■9月21日　市民グラウンド
①植田クラブ②ホワイトスワンズ③ブリッソ

◆ゲートボール
■9月28日
秦山公園ゲートボール場
①あすなろ②東邦A③東邦B

◆弓道
■10月4日　山田高校弓道場
・高校生以下　①坂口英介②大久保優華③別役志朗（以上、山田高校）
■11月2日　時久道場
・一般男子　①藤井貴宏②今井徹③門田晃一（以上、高知工科大学）
・一般女子　①林本麻依（県弓道連盟高知支部）②山本小百合（県弓道連盟幡多支部）③上田真弓（県弓道連盟高知支部）

◆バレーボール(男子6人制)
■10月4日　鏡野中体育館
①JOKER②土佐山田クラブ③87-88組

◆バレーボール(女子9人制)
■10月26日　山田小体育館
①山田体育会②鏡野レディース③Let it go

◆バドミントン
■10月5日　山田高校体育館
・団体1部　①山田A②香北A③香北B
・団体2部　①FB（マイルド）②FB（エスプレッソ）③山田高校A

◆ペタンク（ダブルス）
■11月2日
香北総合型競技施設
①ベアーズR②永瀬ダム③15GG

◆ソフトテニス
■11月3日
宝町テニスコート
・男子ダブルス（1部）
①田中一成・田中俊輔②藤村拓弥・北川華帆③岩﨑菜那・中川湧介（以上、高知工科大学）
■11月3日
工科大テニスコート
・男子ダブルス（2部）
①恒石啓一・寺石文雄②形見浤三・坂下博③東野良介・塩田住夫（以上、土佐山田テニスクラブ）
・女子ダブルス
①濱﨑瑞紀・山中麻央②恒石千晃・山中ゆかり③恒石さち・堀川理恵（以上、土佐山田テニスクラブ）

◆卓球
■11月9日　工科大体育館
・団体　①高知工科大B②土佐山田C③香北A③土佐山田B
・個人1部　①武岡紀幸②和田直樹③吉田一貴③兼子瞭介（以上、高知工科大学）
・個人2部　①小﨑優一郎②森本辰美③杉本翔③笹岡勇杜（以上、鏡野中）

高知県小学生野球港南大会

10月5日、高知県小学生野球港南大会の決勝戦が行われ、山田ジュニアーズが2部で準優勝しました。

▲土佐山田ジュニアーズ

吉井勇記念館だより

ミニ企画展　吉井勇と俳句

吉井勇は、短歌のほかに作詞、小説、戯曲など多方面で活躍しました。

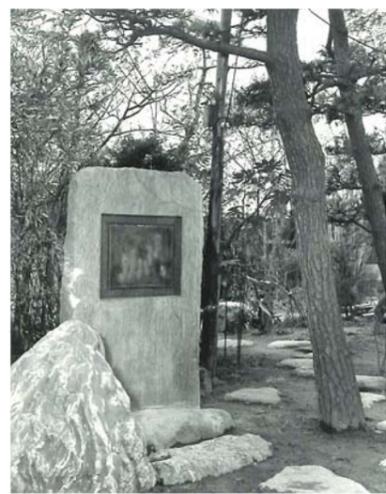
その中で、勇の俳句にスポットを当て、記念館の収蔵品の中から直筆の作品や俳句に関する随筆などを紹介します。

【期間】12月3日（水）～平成27年4月27日（月）

吉井勇作品紹介　～冬～

雪降らばゆかむと君にちかひたる
　その新潟に雪降ると言ふ

〔解説〕
新潟市川端町にある**料亭生粋**の庭に建てられた歌碑の短歌。この料亭のご主人・下田為吉氏は勇と親交があり、「一人でも多くの人に先生の碑を見ていただきたい」との思いで建立された。

この歌は、新潟で雪を見たことがない勇が、下田氏に贈った歌であるが、ついに見に行くことができなかった。

▲料亭生粋の庭にある歌碑

■問い合わせ先　吉井勇記念館　☎58・2220

平成26年 秋の叙勲
第23回 危険業務従事者叙勲
平成26年 秋の褒章

平成26年11月3日に発令された、平成26年秋の叙勲、第23回危険業務従事者叙勲、平成26年秋の褒章の市内の受章者を紹介します。

秋の叙勲
瑞宝双光章
（建設行政事務功労）

さとう なおたか
佐藤 尚孝さん（73歳）
土佐山田町東本町

佐藤さんは、昭和34年4月、四国地方建設局に採用され、平成7年4月に四国地方建設局用地部用地調整官を最後に退職されるまで、36年間にわたり、その職務を全うされました。

在職中は、四国各地に転勤を繰り返しながら、用地補償業務に尽力され、国道や河川、ダムなど公共事業の推進に寄与されました。宿毛市の中筋川ダム建設の際には、中筋川ダム工事事務所の課長として用地交渉の先頭に立たれました。「6年間かけてまとめ上げた大きな仕事だったが、完成したダムを見たときは本当に感慨深かった」と話されました。

転勤が多く家族には苦労をかけたと振り返られ、「県民性の違いなど交渉の苦労も多かったが、小細工をせず、信頼関係を築きながら誠意を持って話をすることが最も大切なこと」と話されました。

危険業務従事者叙勲
瑞宝双光章
（消防功労）

きたむら まさる
北村 勝さん（70歳）
香北町韮生野

北村さんは、昭和38年7月、高知市消防局に消防吏員として採用され、平成17年3月に消防監を最後に退職されるまで、41年9ヵ月にわたり、その職務を全うされました。

在職中は、防災活動はもとより、救急業務、予防業務などに尽力されました。平成11年3月に稼働した消防緊急情報指令システムの立ち上げに携わり、「コンピューターや電算システムについては不慣れな部分も多かったが、周囲の方々の支えもあって無事稼働することができた」と当時の苦労を話されました。

また、大きな被害のあった昭和51年台風17号のときには、自宅も床上浸水の被害を受ける中、泊まり込みで業務に当たったとのことで、「職員全員が使命感を持って仕事をしていた」と話されました。

秋の褒章
藍綬褒章
（自衛官募集相談員）

よしもと ゆきお
吉本 幸男さん（88歳）
香北町美良布

吉本さんは、昭和51年まで自衛官として26年間勤務され、その後昭和60年から自衛官募集相談員となられました。地域の若者と自衛隊とをつなぐ役割を担い、現在もご活躍されています。

地域の高校3年生とそのご家族を中心に、自衛官という仕事の内容を説明し、これまでに100人以上の相談を受けてきたということです。その功績が認められ、平成13年には国務大臣からの感謝状を授与されました。

相談員を続けてきて、「自衛隊に対する周囲の理解が十分でなく、志望者が少ないなど苦労も多かった。しかし、紹介をした若者が試験に合格して自衛隊に入り、その後の活躍している姿を見聞きすると、自分にとっても励みになるし、うれしく思います」と話されました。